

中川八郎絵画展

内子町共生館開館30周年記念事業



《寒霞渓四望眺より》1916年

愛媛県美術館コレクションによる

内子町宿間出身の洋画家中川八郎の作品が、愛媛県美術館のコレクションの中から五十崎凧博物館にやってきます。

おでかけ美術館

令和6年11月22日(金)～12月15日(日)

開館：9:00～16:30 ※月曜日休館

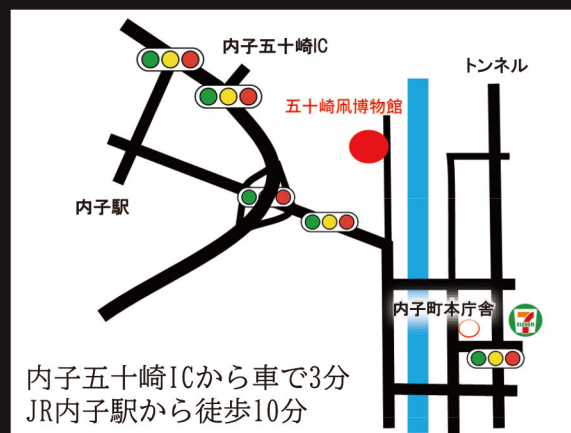
会場：五十崎凧博物館

愛媛県喜多郡内子町五十崎甲 1437

電話 (0893) 44-5200

観覧料：無料

主催：愛媛県美術館・内子町教育委員会



愛媛県美術館コレクションによるおでかけ美術館

—中川八郎絵画展—

会場：五十崎凧博物館 電話 (0893) 44-5200

実施日：11月22日(金)～12月15日(日) ※月曜日休館

時間：9:00～16:30

観覧料：無料

主催：愛媛県美術館・内子町教育委員会



五十崎凧博物館

■内子町宿間出身の洋画家中川八郎の作品が、愛媛県美術館のコレクションの中から五十崎凧博物館にやってきます。中川作品に触れることができる貴重なこの機会にぜひご覧ください。



《杏花の村》
1918年



《漁港》



《裾野残雪》
1920年



《維懸城壁》
1916年



《風景》
1919年



【中川八郎】
(1877-1922)

中川八郎は、1877年12月2日、愛媛県喜多郡天神村（現在の内子町宿間）に中川猪三郎の長男として生まれました。6歳で母親と生き別れ、その2年後に父親が亡くなり、叔父を頼って大阪に移り住みました。

小学校卒業後は、叔父の家業を手伝いながら15歳のときに師について、日本画を学びます。

18歳の時、京都で開かれた「第4回内国勸業博覧会」で、日清戦争の油彩画を見て感銘を受け洋画家を目指すことを決意します。

その後、ヨーロッパやアメリカに渡り技術を磨き、晩年は帝国美術院展覧会の審査員を務めるなど活躍を続け、ヨーロッパの写生旅行からの帰路である神戸で、病気のため44歳で亡くなりました。墓地は、内子町の宿間にあります。

同時開催(協賛事業)

◇「内子町を描こう写生展」小・中学生の作品展を同時開催

会場 五十崎凧博物館 研修室

- ・11月22日(金)～12月1日(日) 小・中学生の特選・入選作品展示
- ・12月3日(火)～12月15日(日) 五十崎管内の小・中学生の作品展

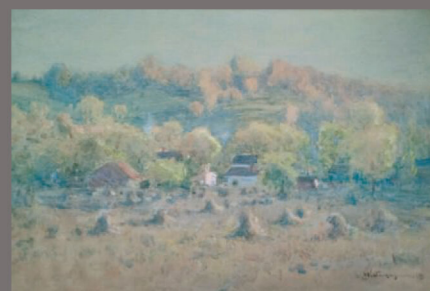


展示イメージ (五十崎文化祭)

◇「中川八郎展」町内の個人所蔵の中川作品を展示

会場 ギャラリー一創是 (内子町内子1613 横田酒店2階)

- ・11月21日(木)～12月16日(月) 時間10:00～18:00



中川八郎 《田舎の秋》1904年